

# 街路樹

## 授業～より多くの人に見てもらい、評価してもらおう～

### ◆他人の目に授業をさらす◆

授業研究は苦手、できるだけ避けたいという先生は多いでしょう。「ただでさえ忙しいのに、丁寧に準備をしている時間などない。」「何より煩わしいし、反省会で何を言われるか不安だ。」…

確かにそうかもしれません。しかし他人の目に自分の授業をさらすことは、万難を排してもやるべき価値があります。

まず他人の視線があると思うだけで、万事いい加減なことではできなくなります。これが抵抗感を生む原因でもあるわけですが、人間は易きに流れやすい生き物。放っておけば知らず知らずのうちに、楽な方へとシフトしてしまいます。だからこそまず他の人に見てもらおう。自分の姿を見せそれによって自分に負荷をかけ、怠惰な現状維持から脱するよう意図的に仕向けていくのです。

研究授業だけが大切なわけではありません。念を入れた1回の授業よりも、いつも通りの普通の授業を5回見ってもらう方が、ずっと力になる。質より量が大切。これは私の経験上、学んできた真理です。

見ってもらう相手は、授業に対して先入観のない保護者などむしろ素人の方がいいのです。自分の教室や授業をどんどんさらけ出しましょう。より多くの人に見てもらい、感想を求めましょう。そしてその次は、人の授業も見に行きましょう。

その積み重ねは確実に、「授業の質」をあげる原動力になっていきます。

### ◆場数を踏む◆

他人の目は鏡です。自分一人では見られない自分の姿を映し出してくれる鏡です。大人の興味をひかない授業が、子どもの心をとらえられるわけがありません。

だからこそその授業公開。始めは抵抗が大きいかもしれませんが、これは場数を踏むごとにだんだんと楽しくなってきます。次はこんな授業をしてやろうと、新しい意欲につながります。

研究授業や授業公開などの機会に恵まれたら決して断るべきではありません。

野口流「授業の作法」より 野口芳宏：著（学陽書房）

## 特別支援教育

### ～行動が気になる子への支援～

8月5日(火)に行われる「発達障がい教育講座」の講師である明星大学の小貴悟教授が、「教育時評 第32号」で「行動が気になる子への支援」について執筆されていました。今回は、その中で、〈注意のつまずき〉について書かれていたことからその一部をご紹介します。

発達障がいにおいて、明確に〈注意のつまずき〉が起こるのはADHDの特徴を持つ場合である。ADHDは薬物による対応を行う場合がある。この薬は、「症状の抑制」を目指すものである。薬が効いている間に、どのような成功体験を積み上げて、問題行動の改善を図るかが勝負である。医学的な立場からの支援は、あくまでも教育的対応のサポートにすぎない。

ADHDのある子は一般的に「注意力のない子」と捉えられている。しかし、ADHDのある子も自分が関心を持つ特定の事柄であると、周りのことが一切意識に入らない位の集中力、注意力を発揮することもある。彼らは、注意力の発揮の仕方が、他の子より个性的であるだけなのである。彼らは、「すべてのことに満遍なく注意を向けてしまう」子である。

注意が様々な方向へ傾向があるということは、一つと同じことを続けることが苦手であるということでもある。そのため、できるだけ目先が変わるように一つ一つの作業を10～15分の単位で細切れにしてあげることも大切である。

学校教育研究所発行「教育時評 第32号」（平成26年3月 刊行）

「通常学級における特別支援教育

～行動が気になる子どもへの支援～

明星大学人文学部教授 小貴 悟



とても多くの先生方に受講申込みをいただきました。当日は、どのようなお話をしていただけるのか、今からとても楽しみです。

研修主任が中心となって年間の研究授業計画を作成している学校も多いことでしょう。「授業研究は若い先生がやるべき」ではなく、ベテランの先生が「授業研究とはこうやるべき」という模範を示すことが大切です。

## 研修講座について

\* 夏休み後に開催する講座の一部をご紹介します。

### ○「コミュニケーション能力講座」

日 時：9月9日(金)14:00～16:20

会 場：いわき市文化センター4階

講 師：日本アニマシオン協会 黒木 秀子

内 容：「読書へのアニマシオンを活用した表現力の育成」

対象者：初任者（選択）、経験者研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（選択）

希望者（教頭、教諭、常勤講師）

※初任者研修・授業研修②の感想（一部抜粋）の紹介です。

2年目となる先生の発表を聞いて、様々な取り組みや経験を重ねて教師としての力量を高めていることが伝わってきた。私の来年の目標とする姿がそこにはあり、とても勇気づけられた。

### ○「ミドルリーダー講座」

日 時：9月30日(火)13:30～16:20

会 場：いわき市文化センター4階

講 師：山田 豊

日本能率協会コンサルティング

チーフコンサルタント

内 容：「チームマネジメントと学校の活性化」

～会議の作り方とファシリテーターの役割～

対象者：経験者研修Ⅲ（悉皆）、経験者研修Ⅱ（選択）

希望者（教頭、教務主任、学年主任等）

